



港区新橋5-15-5
交通ビル4F

国労東日本本部

発行責任者 松井正義
編集責任者 伊藤隆夫

2014年
2月28日
NO. 28

ダイジェスト版

みんなが
待っています。
あなたの力を
国労へ
HP <http://www.e-nru.com>

「連続して発生した脱線事故」 に関する緊急申し入れを本日行う!

2月16日午後2時半ころ、大雪で不通となっていたJR中央線・小淵沢駅構内で、除雪用に使用した機関車が、雪に乗り上げ脱線しました。14日からの雪害下とはいえ、乗客に説明されたのは17日夕になってからと、JR側の公表の遅れと対応に対する非難が出されています。

また、23日の午前1時10分には京浜東北線の回送電車が、JR川崎駅構内にて、工事用作業車と衝突し脱線しました。幸いにも、回送電車であり、乗客の死傷者はなかったとしても、乗務していた運転士と車掌が負傷したことは、重大であり、遺憾と言わざるを得ません。

この間、国労東日本としては、グループ会社を含めた「安全」や「災害」に対するリスク管理などについて、繰り返し指摘してきました。

現在も、2月12日付けで「安全・技術継承に関する申し入れ」にて、昨年の脱線事故に関しての原因究明などを会社に対して求めていました。こうした矢先で発生した、今回の連続脱線事故も、一歩間違えれば大惨事に繋がりがかねないと同時に、大規模輸送障害に対する対策の会社の認識は、看過出来るものではありません。

こうした観点から、以下の内容で緊急の申し入れを行いました。

引き続き、「安全・安定輸送」の確立に向け、「仕事・職場総点検」運動の強化から、安心して働き続けられる職場作りに全力を上げましょう!

「連続して発生した脱線事故」に関する緊急申し入れ

国労東日本申第19号
2014年2月28日

【共通】

- ① 33発動での復旧にあたっては、十分な要員確保と作業環境を整えること。
- ② 情報提供にあたっては迅速かつ適切に利用者や社員におこなうこと。
- ③ 長時間停車の場合の代替乗務員手配などに万全を期すること。

【小淵沢での機関車脱線事故について】

- ① 機関車が脱線に至る経過について明らかにすること。
- ② 脱線の原因並びにその対策について明らかにすること。
- ③ 今回の事故を公表しなかった事が社会的に指摘されているが、公表に至らなかった経過並びに、判断について明らかにすること。

【京浜東北線川崎駅脱線事故について】

- ① 脱線の原因について明らかにすること。
- ② 工事用車両が、何故間合いの前に載線されたのか、その原因について明らかにすること。
- ③ 今回の事故に対する、対策について明らかにすること。